

日本私立大学団体連合会
私学振興に関する報道関係者との懇談会の論点

日 時：平成29年1月25日（水） 17時30分～19時

場 所：アルカディア市ヶ谷（私学会館） 7階「琴平」

テーマ：私大の危機 国の私学助成1割を切る

ー学生の修学の機会均等、国私間格差の是正、新たな高等教育予算の展望ー

※主な論点

論点1 私立大学への公財政支出と私立大学の貢献

＜議論の視点やキーワード＞

- 一般補助と特別補助（85.3%対14.7%）→基盤整備経費から競争的（政策誘導）予算へのシフト
 - 大学経常費補助割合（9.9%）→大学改革に伴う経常的経費の拡大と公財政支出の停滞
 - 私立大学の自主性・多様性に基づく特色ある取組みと社会貢献
 - 地方振興における私立大学の役割
 - 私立大学の卒業生の活躍
 - 私立大学の社会的便益
- 等

論点2 国私間格差（学生の修学支援を中心に）

＜議論の視点やキーワード＞

- 学生一人当たりの公財政支出は国大218万円、私大17万円、約13倍という不合理な格差
 - 授業料減免制度にかかる国私間格差の不合理性 →私大1/2補助の限界（特別措置の必要性）、支給対象者：国大6.1万人、私大5.8万人、格差が拡大し続ける予算：私大102億円、国大333億円
 - 国立大学＝苦学生で優秀、私立大学＝裕福で遊んでいるというイメージの払しょく
 - 国大の家計年収の方が高いのに多くの税金が投下、私大は家計年収が国大より低いのに授業料が高く授業料減免支援が脆弱であるという実情
 - 新たな給付型奨学金の課題
 - 私費負担依存からの脱却
 - 私大の基盤的経費への支援は2分の1補助（実際は9.9%）に対し、法人化後であっても国立大学への国の支援は依然として手厚い
- 等